

平成30年度 基本施策評価シート (部別)

基本目標	基本計画の推進に向けた経営方針
基本方針	基本計画の推進に向けた経営方針
基本施策名	方針5 健全財政の堅持

	所属	職名	氏名
作成者	検査係	係長	赤澤 哲也
評価者	契約検査課	課長	竹内 幾久夫

1 基本施策に対する基本姿勢

現状	130万円以上の工事と100万円以上の業務委託及び50万円以上の物品購入について、指定検査員により関係書類に基づき検査を行う。300万円以上の建設工事について工事成績評価を行っている。
基本方針 (目指すべき方向性)	累積滞納額の縮減と新たな財源確保を進めるとともに、最少の経費で最大の効果を挙げられるよう歳出予算を継続的に見直し、健全財政の堅持に努めます。

2 施策指標

指標	単位	(設定時)	目標値	H28	H29	H30	達成率	進捗状況	所管課
市税現年収納率	%	99.2	99.2			99.3	100	順調	収納課
実質公債費比率	%	9.6	12.3						財政課

施策指標の進捗状況と分析	
--------------	--

3 基本施策を構成する事務事業の評価

(単位：円)

No	コード	事務事業名	所管課	事業費					事務事業の状況					重点化	
				H28	H29	H30	H31	R 2	合計	事業区分	新/継	終期	方向性		正規職員数
1	0102025	検査管理費	検査係	169,372	164,776	31,897			366,045	定型業務	継続	期限なし	現状のまま実施することが適切	2.3	
合計				169,372	164,776	31,897			366,045						

事務事業量とコスト (費用対効果)の分析	技術系職員で組織する市技術審査会において市発注工事に関わる技術的な課題について協議等をした。工事発注に従事する技術系職員のスキルアップを図るとともに、質の高い工事施工を求めることを目的に工事請負者と市技術系職員合同による安曇野市建設工事技術者研修会(市技術審査会主催)を開催しました。
重点化事務事業の考え方	
縮減・廃止事務事業の考え方	
総合評価 (次年度へ向けた課題の抽出)	建設工事等のしゅん工が年度末に集中し事務量が増加煩雑となるため工事等のしゅん工時期を平準化する必要があると思われます。市技術系職員研修会等の機会を捉え建設工事等の早期発注としゅん工時期が年度末集中を回避する依頼を継続して行います。